

先輩教員のお話（「豊能地区の教育DVD」より）

能勢町立能勢小学校 教諭 鈴木 裕貴

能勢町平野にある能勢ささゆり学園。旧府民牧場跡地を造成し、能勢の自然環境を生かした施設一体型小中学校として、平成28年4月に開校しました。1年生の担任を務める鈴木裕貴さんに学校の第一印象を聞きました。

#### 能勢小学校の印象

「一番最初に感じたことは、広くて緑が豊かな学校だなということです。教育施設も充実しているので、子どもたちにとっても魅力的な学校だと思います。また、学びの丘という、学校敷地内にあるんですけど、そこには馬がいて観察をしたり、絵を描いたりしています。」

#### 能勢町について感じること

「能勢町は、緑がいっぱいで空がとてもきれいです。農作物もとてもおいしく、地元の食材を豊富に使った給食は、どこにも負けないくらいおいしいです。また、地域の人と一緒に学校をつくっているのも、そこも魅力的だと思います。」

#### 能勢町の教育について

「今年新しくできた学校は、小中一体型の施設で、子どもの成長を9年間見ることが出来ます。特徴としては、能勢のことを詳しく学ぶグローバル能勢、小1からネイティブな発音を学習するフォニックスの英語、異学年交流や小中連携をおこなうささゆりタイムなどがあります。」

#### めざす教師像

「一番大切にしていることは子どもとの信頼関係です。子どもは先生のことをよく見ています。信頼されているからこそ、子どもはついてきてくれますし、がんばる姿を見せてくれます。子どものためにということを忘れずに、これからもがんばります！」